



みなさんこんにちは、新年度を迎え、いかがお過ごしでしょうか？日頃より菊池ひろしの議会活動に対しまして、ご理解とご支援を頂きまして誠にありがとうございます。

さて、世界を見渡しますと、シリアへの米国の攻撃や北朝鮮問題など今後の世界情勢に対して危険な動きになってきました。経済的には米国のトランプ政権の発足により、第二次世界大戦の引き金にもなりました保護主義が台頭し始めて、大国同士の争いが表面化しつつあります。今後益々、米国・中国・ロシア等々の国々の関係が複雑化して何となく嫌な流れになっており、今後の関係修復に期待したいところです。

さて下妻市においては、今年後が稲葉市政2期目の最終年度になります。今年度初旬には以前より建設中の WaiWai ドームしもつま (旧ジャスコ跡地：屋根付き多目的広場など) や下妻市観光交流センター さん歩の駅サン・SUN さぬま (砂沼南岸：カフェ及び物産館など) がオープンします。市長はこれらの施設をまちづくりの中心的な施設と捉えて、市内に多くの交流人口を呼び込み、下妻市を活性化するとしていますが、果たして目論見通りの効果が出るのか？疑問が残る面もありますが、多くの予算を投入している以上は、一定の成果を出すべきであり、今後の施設の活用を含むソフト事業に注目しています。

第1回下妻市議会定例会報告

平成29年第1回下妻市議定例会が3月1日から3月17日までの17日間の会期で行われ、今回上程された29議案が、全議案 原案通り可決されました。なお、例年3月議会は、次年度の一般会計予算、特別会計予算等などの審査が行われ、年4回の市議会定例会の中では内容及びボリューム等で一番濃いものとなっています。

審議した主な議案

1. 下妻市表彰条例の制定について

現行の表彰規則を見直し、新たに条例として制定することにより、名誉市民条例、市民栄誉賞条例とともに本市表彰制度の体系化を図るもの

2. 下妻市職員定数条例の一部改正について

新規事業や権限移譲により事務量が増大し、職員の実数が定数を超える可能性があるため、定数を現状に即したものにするための改正

3. 市長・副市長・教育長給与等について減額措置をするもの

市長・副市長及び教育長について10%減額するもので条例上延長するもの。

月額給与及び報酬

	減 額 前	減 額 後
市 長	83 万円	74万7千円
副 市 長	67 万円	60万3千円
教 育 長	63 万円	56万7千円

4. 下妻市農業員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について

農業委員会に関する法律の一部改正により、農業委員会の委員の選出方法等が改められるとともに、農地利用最適化推進委員が新設され、それぞれの定数等を定めるもの

農業委員の定数 従来：25人(内5人は推薦) → 19人へ

報酬	月額44,800円	
推進委員の定数	従来：なし	→11人
報酬	月額22,400円	

5. 平成28年度下妻市一般会計補正予算について

各事業の確定に伴い、最終的に予算を整理したものなど

今回の補正は2億4,278万円を減額し、予算総額は199億4,043万円となった。

6. 平成29年度下妻市一般会計予算について

予算総額 159億1千万円（前年比20億2,500万円減：11.29%の減）

H29年度末 見込起債残高（借金残高）220億3,279万円

- ① ハザードマップ作成事業 766万円 洪水浸水想定区域図の変更による
- ② 自治総合センターコミュニティ助成事業 1,750万円（原南部地区1,500万円ほか）
- ③ 西町 消防団詰所建替え工事 1,850万円
- ④ ビアスパークしもつま管理運営事業 6,000万円
- ⑤ WaiWai ドームしもつま管理運営事業 2,033万円
- ⑥ さん歩の駅サン・SUN さぬま指定管理業務委託料 580万円
- ⑦ コミュニティバス運行事業 1,218万円
コミュニティバス導入に対するキャンペーン及びモニタリング調査など 364万円
- ⑧ 不妊治療費助成事業（H29年度より男性の不妊治療に対しても助成）200万円
- ⑨ 外国人英語指導助手の直接雇用 470万円 授業支援のほか『キッズからシニアまで』各世代が英語に親しむ事業を実施
- ⑩ 柳原球場整備工事 358万円 千代川運動公園野球場改修工事 3,179万円
H31年開催予定の国体において少年男女フットボール競技会場となるため
- ⑪ 千代川庁舎空調設備交換工事 3,002万円
- ⑫ 庁舎等施設建設基本構想策定事業 1,272万円

ひろしのコメント

（1）コミュニティバス運営事業について 予算1,218万円

市執行部の説明によりますと、現在、しもんちゃんバスの愛称で市内中心地を運行していますコミュニティバスの実証運行の途中結果について（1/23～2/28：37日間）は1012人の乗車があり、一日平均27人の乗車との事でありました。また、実証運行は2年間行い（その後検証するとの事）事業としては5年間継続する予定との事であります。

シモンちゃんバスの運行を市内で何度か見かけましたが、ほとんど乗車している人を見かけなかったように感じています。国からの予算が一部投入されてはいますが、本当にこの事業が必要なのか？交通弱者に対する市民の足としてもっと有効な手段はないのか？を2年を待たずにもっと早い時期に検証する必要があると思っています。（但し、市の事業は一般的に一度スタートしてしまうと、変更等することがなかなか困難であることは事実です。）

市長の政治姿勢について

はどうなっているのか。

問 ①砂沼サンビーチの存続

問題及び(株)ふれあい下妻(ヒアスパークしもつま)の経営再建について市長はどのように早期に対応していくのかについて伺う。

砂沼サンビーチの存続が否か等について、市長は過去の一般質問の答弁にて、この1、2年の内に判断するとしていたが、悠長なことを言っているが、悠長な状況になりつつある。

一つは今までの内部留保資金が底をつき、他予算からの予算投入が目前に迫っている事。二つ目は施設の老朽化に伴い、H30年度には約1億円、その後も多額の修繕費が掛かることが市当局より明確に示されたからである。私には、今後砂沼サンビーチを存続するための明確な理由となる判断材料が見つかからない。

市民感情から残したいのは当然であるが、今の下妻市には存続させるだけの体力が残っていないとは思えない。ヒアスパークしもつまについては、指定管理料6千万円を投入する2年目に入る。経営再建策

市長公室長 H28年度の収支は赤字であるが、本施設は貴重な観光資源としての役割が大きい施設なので、H30年度以降については状況を把握して検討する。(株)ふれあい下妻の経営再建については、一時の大幅赤字からは大分改善が進んだので、今後も気を引き締めて運営したい。現在休園中の農園部門については大きな不採算部門であったことから、別途、利活用を考えたい。

市長 砂沼サンビーチの決断を早くすべきと言われるが、市長ではない立場である方はつきりと言え。市長の立場では、施設関連で収益を上げていく方たちや子供たちの事を考えると心がグラつく。

老朽化が激しいのでそろそろいい時期かなとは感じているが、下妻市全体としてのブランド力の面も考慮して市政を運営している。本格的に考える時期であるが、ここではつきり明言しろと言われても明言できないのが現状である。

ヒアスパークしもつまについては、存続させる方向で考えている。

問 ②砂沼エントランス事業

成功のためには、今後の砂沼周辺地域の景観美化などを含むソフト事業の充実が鍵を握っていると考えられるが、現状認識と課題及び解決策について伺う。

砂沼の玄関口が整備され多くのお客様に来て頂くためには、母屋である砂沼自体が更に魅力あるものにならないければならない。ゴミの散乱や犬のフン害などがあつてはその魅力が半減してしまう。下妻市の市民力は他には負けない力を持っていると思う。行政はその市民力を結集し、同じ方向にまちづくりを推進するリード役であるべきだ。オール下妻市民で砂沼の魅力をブラッシュアップすべきではないか。少子高齢化社会を迎え、

市民主役のまちづくりを進めるためにも砂沼の景観美化の推進をモデルケースとすべきではないか。また、今後は、砂沼の主役をサンビーチから砂沼エントランスへ移行して交流人口を増加させる施策が必要ではないか。

建設部長 砂沼周辺地域の景観美化については、犬のフン

対策、水質浄化対策を行い、環境活動として砂沼をきれいにする運動を行っている。今後景観維持、公園サポーター等の既存制度の周知活用、先進地事例の研究が必要である。

市長 砂沼サンビーチが無くなつたとしても砂沼全体で多くのお客様を呼び込みたい。サンビーチの跡地利用を有効活用して砂沼周辺に百万人近くを呼び込みたい。そのためには環境美化、水質浄化について最大限努力する。

問 ③今後の人口減少社会及び超高齢化社会を見据えて、地域包括ケアシステムによるまちづくりが必要不可欠と考えるが市長の考えは。

具体的には中学校単位を一つの単位として、医療機関はもとより、行政、民間企業、自治会、ボランティアが一体となつて地域住民みんなで支え合う仕組みをつくるという事である。

保健福祉部長 健康都市しもつまの推進のため、地域包括ケアシステムの構築に向けて行政と市民が一緒に取り組める様、オール下妻で考えたい。

(2) 予算編成全般について

市執行部では、当市の財政状況は改善しつつあるとしていますが、本当にそうなのでしょうか？私は今回の予算編成状況から判断して特に疑問に思っています。

H29年度予算額をH28年度予算と比較して事業別に見ていきますと、ハード的な新規事業は増加しています。が一方で教育・福祉関係の予算が削られていると思っています。例えば、新規にWaiWaiドームしもつま管理運営事業やコミュニティバス事業などを行う一方で、高齢者福祉タクシー事業 390万円（H28年度427万円） 各種健康診査・がん検診事業 5,855万円（H28年度6,482万円）市立図書館の図書購入費用 1,000万円（H28年度1,200万円）へと削減されています。私はこの削減されている予算状況について予算委員会で質疑しましたが、いずれの予算項目においても担当課長からの回答は、予算編成上の理由からでした。（つまり担当課では従来通り予算要求していますが、厳しい財政状況のために予算カットしていると私は推測しています。）市長からはバランスよく予算編成したとのことでしたが、私には予算編成が厳しくなり比較的可見でない予算を削ったと捉えてなりません。一般的に施設のライフサイクルコスト（その施設が建設されてからその役目を終えるまでの総合的な費用）はその施設の建設費用の約10倍とされています。例えばWaiWaiドームしもつまの建設費用は約2億円です。約20億円の維持管理費が掛かると推測されます。従って施設の建設にはその後の維持管理費をよく検討することが非常に重要となっていますが、今後の予算編成には非常に注目しています。

ほっと一息

『お父さん、今度の土日に帰るけど。ゴルフの練習行かない？』
二男はゴルフはやらないと言ったけど。なぜ？
『実は、社内コンペに来週参加するので、最近クラブ買った。』と
数本のクラブを片手に二男が帰ってきた。
『コースは初めてだけど、上司に誘われて付き合いで、参加することになった。』と。
息子も社会人3年目として、会社に溶け込んでいっているんだ。頑張っているな。と少し感激。
『スコアは160回位で回れば最高じゃない？』と私なりのアドバイス。
前日の飲み会にて少し飲みすぎた感があるが、息子と練習場へ。私は最高の気分です。スイング。でもナイスショットとは程遠い実力通りの弾道。「まずい、息子に抜かれる？」

編集後記

先日、ある方の紹介で松下政経塾の卒塾式に参加させて頂いた。
4年間の研修を経た卒塾生は34期生4名で、それぞれの方が研修の成果や、卒塾後どのような道に進むか、又自分自身の想い等を聴くことができた。若者たちの熱き言葉を聴き、私自身も新たに考えさせられる場面が多々あった。
特に一人の塾生が『人生には一歩を踏み出す勇気と覚悟が必要である。』と言っていたが、本当に心に残る言葉であった。松下政経塾の研修目的は、【国家百年の大計をつくる（ビジョンをつくる）+ビジョンを具現化する実践者になる。】事であるが、ビジョンよりも想いの実現の大切さを教えられた卒塾式であった。